

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は、教員養成の広域拠点大学として、これからの学校教育において率先して取り組むことのできる教員の養成を使命としています。学士課程においては、学校教育現場において求められる、1) 幅広い視野と豊かな教養、2) 各学校の教員として必要とされる幅広く専門的な知識や技能、3) 多様な教育活動における実践的力量、4) 自らの責任を積極的に果たしていく社会性や協調性、5) 将来にわたって自らの課題を解決できる力量等の資質・能力を培い、各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。そのために本学では、各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に習得するカリキュラムを編成しています。

<福岡教育大学では、次のような人の受験を期待します。>

◎子どもの成長・発達や学校教育に対する関心、教員をめざす強い意志と情熱をもち、教員となるために必要な学習に自発的、積極的に取り組める人。

◎高等学校の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに、それらを活用して、論理的に思考し自分の考え等を他の者に対して説明すること、課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。

さらに、中学校や高等学校、特別支援学校中学部や高等部の教員をめざす場合は、教員となって担当しようとする教科、科目について十分な学力を身に付けている人。

◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え、組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。

<福岡教育大学の入学者選抜では、次のような力を評価します。>

【初等教育教員養成課程】

・「一般入試（前期日程・後期日程）」では、大学入試センター試験を課し、受験生が全教科担任制の小学校教員に向けた大学での学習に必要な基礎的な学力を高等学校段階において身に付けているかを判断します。また、「前期日程」では「小論文」を課し、教職への意欲、小学校教育に関わる課題の理解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。「後期日程」は「面接」を課し、教職への意欲、表現力、積極性、協調性等を評価します。

・「推薦入試Ⅰ」では大学入試センター試験を免除し、「小論文」と「面接」を課します。「小論文」では、出身県の小学校教育に関わる課題の理解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。「面接」では、教職への意欲、大学での学習への意欲、表現力、積極性、コミュニケーション力等を評価します。「小論文」及び「面接」の成績と高等学校長からの推薦書、調査書、志望理由書等を総合して選抜を行います。

・「推薦入試Ⅱ」では「小論文」と「面接」を課します。「小論文」では、小学校教育に関わる課題の理解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。面接では、教職への意欲、大学での学習への意欲、表現力、積極性、コミュニケーション力等を評価します。また、大学入試センター試験を課し、高等学校段階における基礎的な学習の到達度をみるとともに、大学での学習に必要な基礎学力を身に付けているかを判断します。「小論文」、「面接」及び大学入試センター試験の成績と高等学校長からの推薦書、調査書、志望理由書等を総合して選抜を行います。

【初等教育教員養成課程 幼児教育選修】※本選修で行う推薦入試は「推薦入試Ⅰ」を示します。

・「一般入試（前期日程）」では、大学入試センター試験を課し、受験生が全教科担任制の小学校教員及び幼児教育に理解の深い教員に向けた大学での学習に必要な基礎的な学力を高等学校段階において身に付けているかを判断します。また、「小論文」を課し、課題を適切に把握する力、自己の考えを表明するための基本的な文章構成力、論旨の明確さ、創造力、表現の豊かさ等を評価します。

・「推薦入試」では、大学入試センター試験を免除し、「面接」を課します。「面接」では、教員になろうとする意欲、論理的思考力、表現力、積極性、表現の豊かさ、創造力等を評価します。「面接」の成績と高等学校長からの推薦書、調査書、志望理由書等を総合して選抜を行います。

【中等教育教員養成課程】※本課程で行う推薦入試は「推薦入試Ⅰ」を示します。

・「一般入試（前期日程・後期日程）」では、大学入試センター試験を課し、受験生が教科担任制である中学校、高等学校の教員に向けた大学での学習に必要な基礎的な学力を高等学校段階において身に付けているかを判断します。また、全専攻共通の「小論文」を課し、教職への意欲、学校教育に関わる課題の理解力、論理的思考力、文章表現力等を評価します。さらに、各専攻でめざす教員の担当科目の全般的な領域での基礎的な知識・技能に関する試験を行い、志望する専攻に対する適性、資質、能力等を評価します。

・「推薦入試」では大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、専攻毎の特性を生かした実技検査等を課し、実技検査等の成績と高等学校長からの推薦書、調査書、志望理由書等を総合して選抜を行います。

【特別支援教育教員養成課程（初等教育部）】※本課程(初等教育部)で行う推薦入試は「推薦入試Ⅰ」を示します。

・「一般入試（前期日程・後期日程）」では、大学入試センター試験を課し、受験生が特別支援学校の小学部の教員に向けた大学での学習に必要な基礎的な学力を高等学校段階において身に付けているかを判断します。また、「前期日程」では「面接」を課し、分析・理解・思考・総合・表現する能力等を評価します。「後期日程」では「小論文」を課し、論述された内容の論理性、妥当性等を評価します。

・「推薦入試」では大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、「面接」を課します。「面接」では、集団討論の中での発言の適切性、自分の意見を論理的に表現する力等を評価します。「面接」の成績と高等学校長からの推薦書、調査書、志望理由書等を総合して選抜を行います。

【特別支援教育教員養成課程（中等教育部）】※本課程(中等教育部)で行う推薦入試は「推薦入試Ⅱ」を示します。

・「一般入試（前期日程・後期日程）」では、大学入試センター試験を課し、受験生が特別支援学校の中学部、高等部の教員に向けた大学での学習に必要な基礎的な学力を高等学校段階において身に付けているかを判断します。また、「前期日程」では「面接」を課し、分析・理解・思考・総合・表現する能力等を評価します。「後期日程」では「小論文」を課し、論述された内容の論理性、妥当性等を評価します。

・「推薦入試」では「面接」を課し、集団討論の中での発言の適切性、自分の意見を論理的に表現する力等を評価します。また、大学入試センター試験を課し、高等学校の段階における基礎的な学習の到達度をみるとともに、大学での学習に必要な基礎学力を身に付けているかを判断します。「面接」及び大学入試センター試験の成績と高等学校長からの推薦書、調査書、志望理由書等を総合して選抜を行います。